福島経済マンスリー

８月の県内経済は、一部に弱い動きがみられ、全体では持ち直しの動きが緩やかになっている。

１．2019年８月の県内経済

項　　目	コ　　メ　　ン　　ト	景況判断	
		変化方向	水　準
県内経済の景況	県内経済は、大型小売店販売額、乗用車新車登録台数が前年実績を上回ったものの、公共工事前払保証請負額、建築着工工事費予定額、新設住宅着工戸数がいずれも前年実績を下回るなど、全体では持ち直しの動きが緩やかになっている。	⇨	
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）は、百貨店が前年を下回ったものの、スーパーが前年を上回ったことから、合計では２カ月ぶりで前年を上回った。また、乗用車新車登録台数は、軽乗用車が前年を上回ったことから、合計でも３カ月ぶりで前年を上回った。	⇨	
公共投資	公共工事前払保証取扱は、件数が３カ月ぶりで前年を上回ったものの、請負金額と保証金額が５カ月ぶりでいずれも前年を下回った。	⇘	
設備投資	民間非居住用建築着工は、床面積が２カ月ぶりで前年を上回ったものの、棟数、工事費予定額が２カ月連続でいずれも前年を下回った。	⇨	
住宅投資	新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲がいずれも前年を下回ったことから、全体でも２カ月連続で前年を下回った。	⇘	
生産活動	鉱工業生産指数（季節調整済指数）は、３カ月連続で前月値を下回った。業種別の前月比をみると、「電気機械工業」など10業種で上昇し、「金属製品工業」など９業種で下降した。	⇨	
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が前月と変わらず、原数値が前年同月比△0.02ポイントとなった。一方、雇用保険受給者実人員は前年同月比△7.4％と19カ月連続で前年を下回った。	⇨	

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（⇗：改善、⇨：不変、⇘：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における３カ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の３カ月加重移動平均値と過去５年間の平均値の比較等を参考に、それぞれ判断している。ただし、「変化方向」が改善または悪化の場合でも、「水準」が変わらない場合もある。したがって、足元の動向を示す「コメント」と「景況判断」は異なる場合もある。なお、公共投資および設備投資は６カ月加重移動平均値による判断、鉱工業生産指数は７月データ。

〈天気図（水準）の意味〉

晴　れ	晴れ一部曇り	曇　り	曇り一部雨	雨

良　い　←　　→　悪　い

２．県内経済動向の概要

(1)　前年同月比

（単位：％、ポイント）

	項　　目	前　年　同　月　比					
		2019年３月	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	1.6	△ 1.0	0.8	0.1	△ 4.6	0.6
	乗用車新車登録台数	△ 4.7	7.0	5.0	△ 6.6	△ 0.0	6.9
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 9.9	3.6	115.8	9.0	19.4	△ 37.6
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	△ 36.0	30.4	△ 15.7	111.1	△ 33.1	△ 8.0
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 5.2	△ 6.8	△ 18.9	17.2	△ 29.3	△ 38.8
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	6.5	10.4	2.1	2.7	4.8	―
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.05	0.03	0.03	0.03	△ 0.01	△ 0.02
	雇用保険受給者実人員	△ 10.8	△ 4.2	△ 14.5	△ 9.3	△ 3.7	△ 7.4

注１　鉱工業生産指数は原指数、有効求人倍率は原数値。Ｐは速報値、ｒは訂正値。

(2)　前月比

（単位：％、ポイント）

	項　　目	前　　月　　比					
		2019年３月	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	15.1	△ 7.5	4.1	△ 2.9	1.3	6.1
	乗用車新車登録台数	48.6	△ 42.9	△ 2.7	9.6	1.5	△ 12.4
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	20.3	△ 15.8	25.2	△ 11.1	7.4	△ 29.4
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	49.3	198.2	△ 54.8	84.8	△ 35.4	△ 49.6
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 16.3	42.4	△ 45.2	145.2	△ 37.4	△ 16.2
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	3.6	0.9	△ 0.7	△ 5.6	△ 0.6	―
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.04	△ 0.01	△ 0.01	△ 0.01	△ 0.02	0.00
	雇用保険受給者実人員	△ 2.5	6.6	8.9	2.9	9.2	△ 5.1

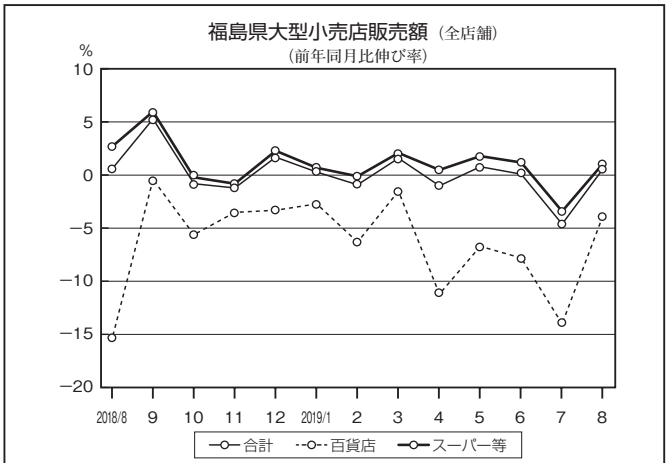
注２　鉱工業生産指数は季節調整済指数、有効求人倍率は季節調整値。Ｐは速報値、ｒは訂正値。

３．県内経済動向

消費動向

大型小売店：２カ月ぶりで前年比増

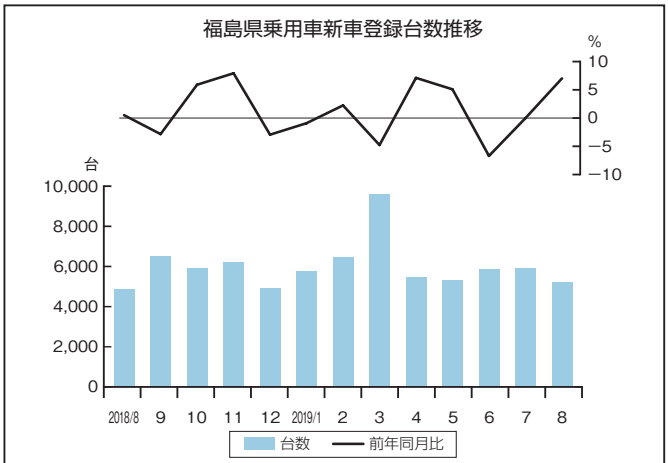
８月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、合計で216億98百万円（前年同月比＋0.6%）。業態別でみると、百貨店が19億80百万円（同△3.8%）、スーパーが197億19百万円（同＋1.1%）。



（資料：経済産業省）

乗用車販売：３カ月ぶりで前年比増

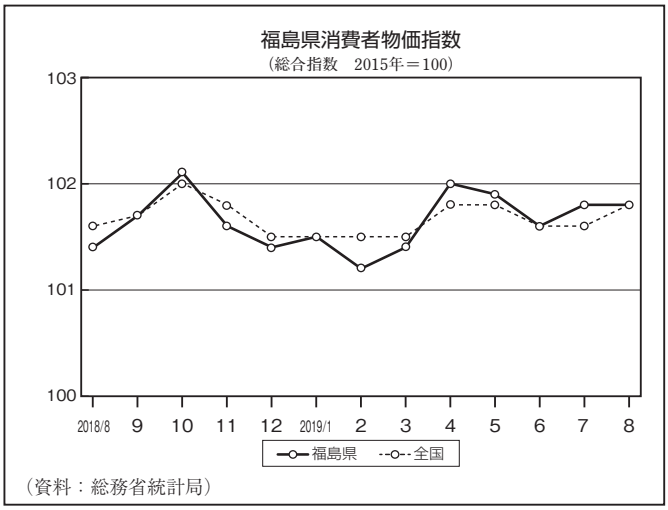
８月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で5,185台（前年同月比＋6.9%）。車種別でみると、普通車が1,638台（同△3.9%）、小型車が1,370台（同△6.3%）、軽乗用車が2,177台（同＋29.3%）。



（資料：(一社)日本自動車販売協会連合会福島県支部）

消費者物価指数：前年比で上昇、前月比で横ばい

８月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、2015年＝100）が101.8で前年同月比＋0.4%、前月比±0.0%。費目別に前月比でみると、「教養娯楽」の107.1（前月比＋3.3%）など３費目で上昇、「被服及び履物」の96.7（同△3.3%）など５費目で低下。

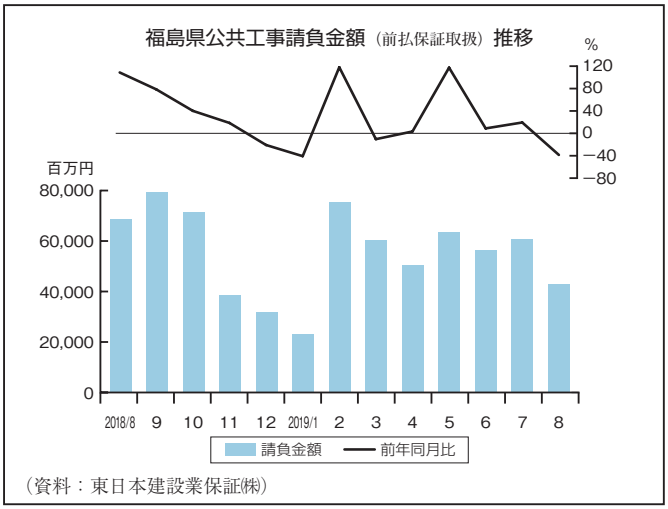


（資料：総務省統計局）

公共投資

公共工事：請負金額は５カ月ぶりで前年比減

８月の公共工事前払保証取扱は、件数が660件（前年同月比＋8.7％）、請負金額が430億40百万円（同△37.6％）、保証金額が199億66百万円（同△36.9％）。

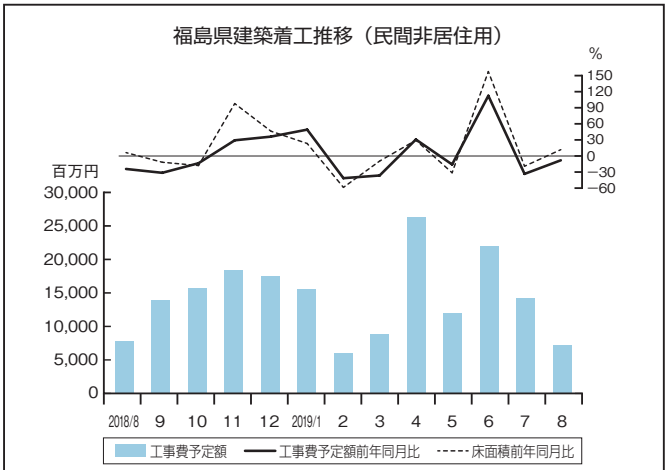


（資料：東日本建設業保証㈱）

設備投資

設備投資：工事費予定額は２カ月連続で前年比減

８月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が100棟（前年同月比△38.3％）、床面積が54,075㎡（同＋11.6％）、工事費予定額が71億50百万円（同△8.0％）。

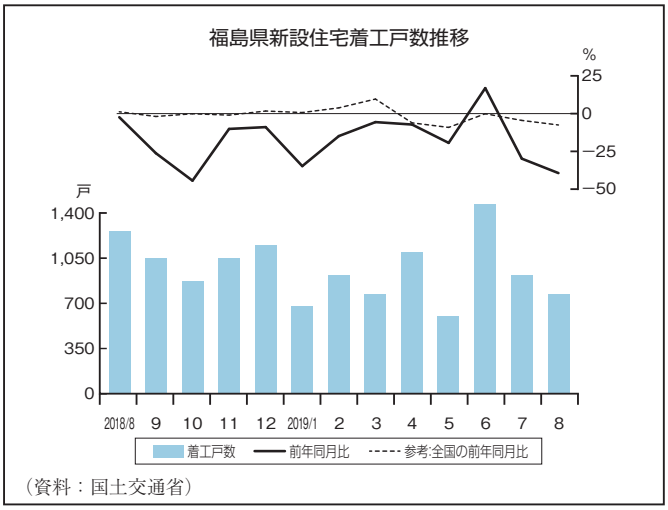


（資料：国土交通省）

住宅投資

住宅建設：着工戸数は２カ月連続で前年比減

８月の県内新設住宅着工戸数は772戸（前年同月比△38.8％）。主な利用関係別にみると、「持家」が383戸（同△26.6％）、「貸家」が280戸（同△35.2％）、「分譲」が107戸（同△61.1％）。



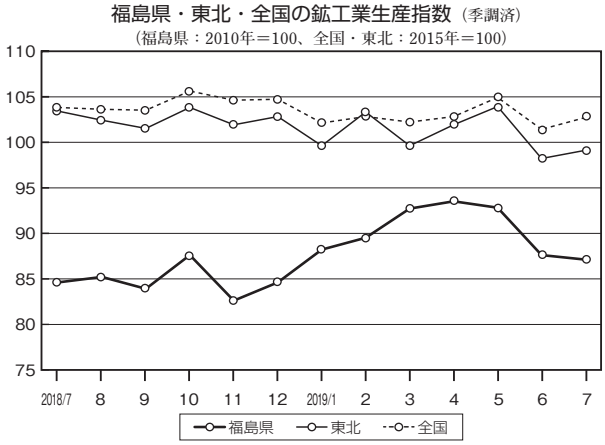
（資料：国土交通省）

生産活動

※鉱工業生産指数は7月のデータ

鉱工業生産指数：前月比下降、前年比上昇

７月の鉱工業生産指数（季節調整値）は87.1で前月比△0.6%、原指数は91.6で前年比＋4.8%。業種別の季節調整値をみると、「電気機械工業」（前月比＋13.1%）など10業種で上昇、「金属製品工業」（同△11.1%）など９業種で下降。

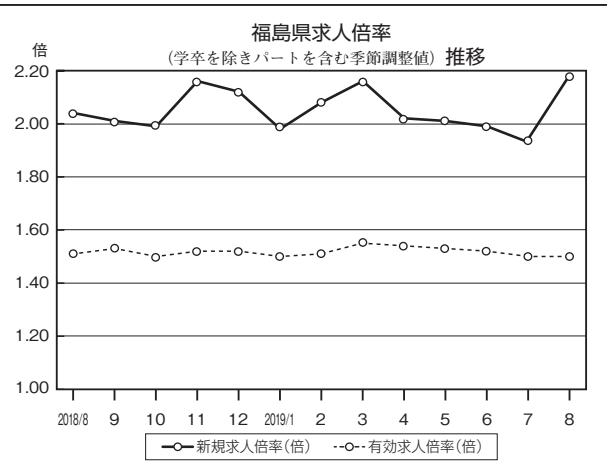


（資料：福島県企画調整部統計課）

雇用動向

雇用動向：雇用保険受給者実人員は前年比減

８月の新規求人倍率は、季節調整値が2.17倍（前月比＋0.24ポイント）、原数値が2.31倍（前年同月比＋0.15ポイント）。有効求人倍率は、季節調整値が1.50倍（前月比±0.00ポイント）、原数値が1.47倍（前年同月比△0.02ポイント）。一方、８月の雇用保険受給者実人員は6,058人（前年同月比△7.4%）。

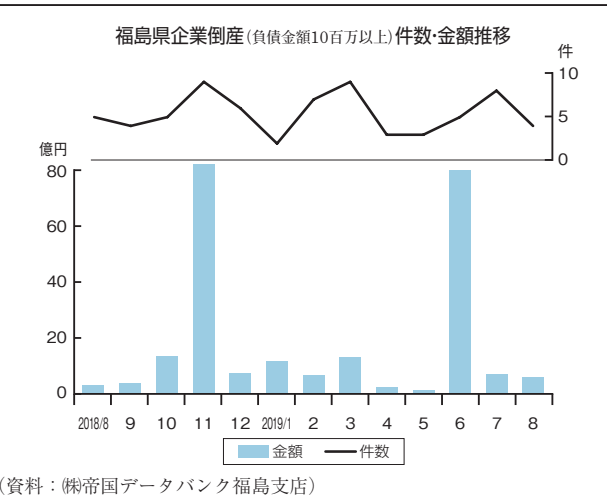


（資料：福島労働局職業安定部）

企業倒産

企業倒産：金額が前年比で増加

８月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が４件（前年同月比△20.0%）、負債総額が５億78百万円（同＋88.3%）。業種別でみると、建設業が２件、小売業とサービス業が各１件。



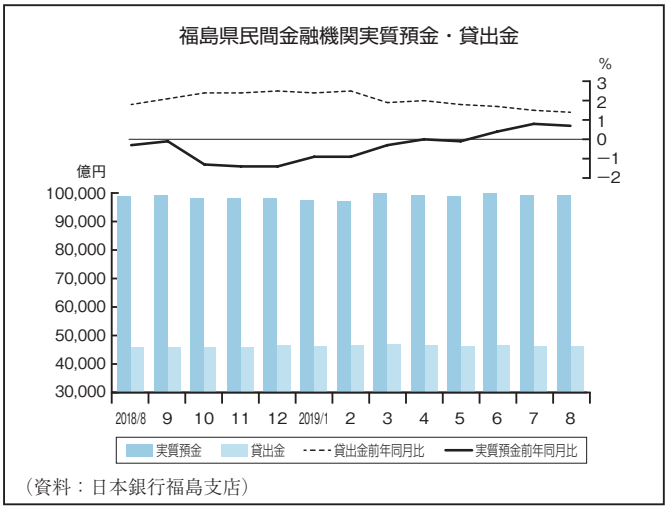
（資料：㈱帝国データバンク福島支店）

金融動向

資金需給：預金、貸出金とも前年比増

県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の８月末の実質預金残高は、９兆9,605億円（前年同月比＋0.7％）と３カ月連続で前年比増。また、貸出金残高は、４兆6,295億円（同＋1.4％）と６年３カ月連続で前年比増。

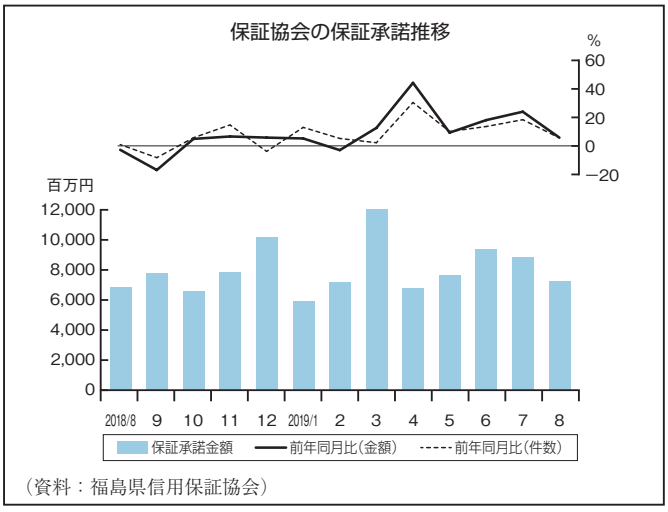
※実質預金は、総預金から手形・小切手を控除したもの。



（資料：日本銀行福島支店）

保証協会：代位弁済は件数、金額とも前年比減

８月の保証承諾は、件数が631件（前年同月比＋5.5％）、保証金額が72億２百万円（同＋5.7％）。８月末日現在の保証債務残高は、件数28,999件（同△8.8％）、金額2,577億50百万円（同△5.0％）。一方、８月中の代位弁済は、件数が24件（同△35.1％）、金額が１億59百万円（同△41.9％）。



（資料：福島県信用保証協会）

４．業種別動向

消費動向

※企業ヒアリング等による結果

家電大型専門店　８月の家電大型専門店の売上高は、梅雨明けに伴って、エアコンや扇風機などが前年実績を上回ったことなどから、全体では前年比で約34％増。

ホームセンター　８月のホームセンターの売上高は、園芸・農業資材などが前年を上回り、全体では前年比約７％増。

旅行　８月の個人旅行取扱額は、国内旅行では前年を10％ほど下回ったものの、海外旅行ではハワイ、グアムを中心に堅調な動きとなり、前年の約２倍。

高速道路　８月の県内自動車道出入台数は、合計で538万台（前年同月比＋4.0％）。路線別にみると、東北自動車道（白河 IC～国見 IC）は292万台（同＋4.1％）、磐越自動車道（磐梯熱海 IC～西会津 IC）は71万台（同＋1.2％）、磐越自動車道（いわき三和 IC～郡山東 IC）は40万台（同＋1.9％）、常磐自動車道（いわき勿来 IC～新地 IC）は135

万台（同＋5.7%）。

福島空港　８月の福島空港の利用客数は、国内線が24,106人（前年同月比＋8.9%）。路線別にみると、定期便では札幌便が7,174人（同△4.6%）、大阪便が16,732人（同＋17.2%）、国内チャーター便は200人。一方、国際線はチャーター便が1,429人。（国際定期路線は全便運休、チャーター便には悪天候等による代替着陸を含む）

生産活動

※企業ヒアリング等による結果

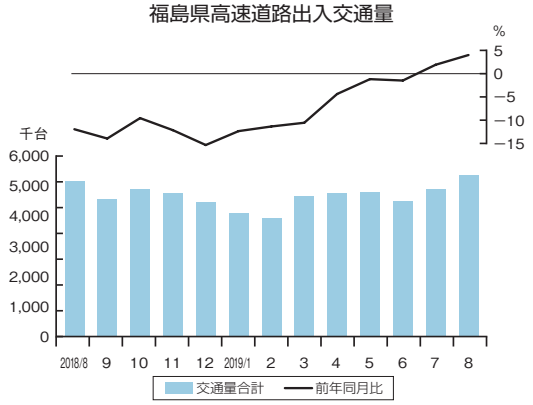
化学　８月の家庭用樹脂製品は、中国景気停滞に伴う東南アジアの需要減が懸念されてはいるものの、前年並みの生産水準。

鉄鋼・金属　８月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材が自動車の需要減や中国経済の減速による影響などから、前年比で約８%減。半導体向け電子材は、米中貿易摩擦の影響や自動車の電装向け需要の減少などから、前年比で約13%減。８月の建機用鋳造品の生産は、海外からの受注減などにより、前年とほぼ同水準。８月の鋳鋼品の生産は、船舶部品が前年を下回ったものの、陸舶用バルブが発電所向けを中心に前年を16%ほど上回ったことから、全体では前年比で３割増。

輸送用機械　８月の自動車用鋳造品の生産は、トラックがアジアを中心とした海外からの受注減少により、前年比で約６%減。オイルシールは、東南アジアからの受注がほぼ横ばいで推移しているものの、米中貿易摩擦などにより、中国の受注が落ちていることから、前年をわずかに下回る生産。

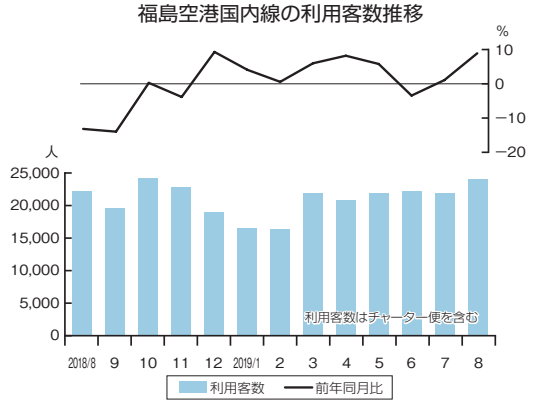
電気機械　８月の電気機械の生産は、配電盤およびモーター、誘導炉がいずれも前年比で減少した

福島県高速道路出入交通量



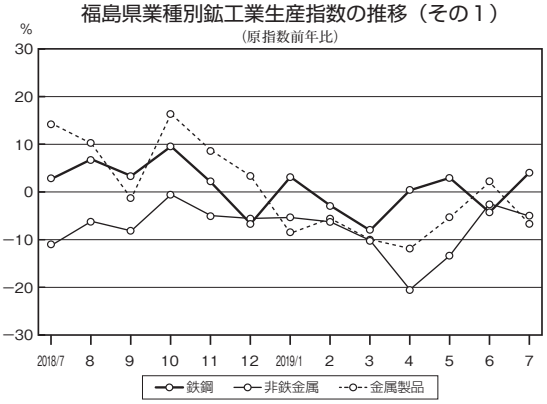
（資料：東日本高速道路㈱東北支社）

福島空港国内線の利用客数推移



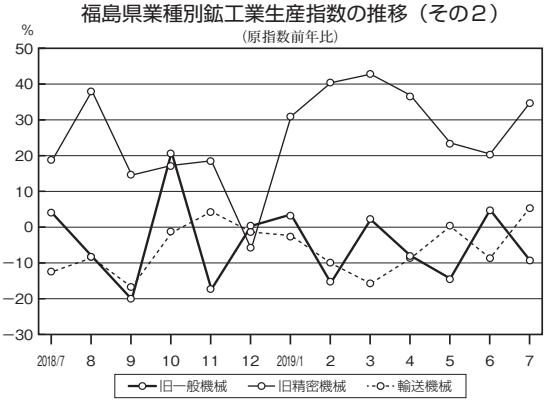
（資料：福島県商工労働部空港交流課）

福島県業種別鉱工業生産指数の推移（その１）
（原指数前年比）



（資料：福島県企画調整部統計課）

福島県業種別鉱工業生産指数の推移（その２）
（原指数前年比）



（資料：福島県企画調整部統計課）

ものの、変圧器が前年を大きく上回ったことから、合計では前年比で約17%増。

情報通信機械　８月のパソコンの生産は、デスクトップが消費税率引き上げ前およびWINDOWS7のサポート終了による駆け込み需要などから、前年水準を上回る。

電子部品・デバイス　８月のLSI（大規模集積回路）は、前年実績を約11%下回る生産。

精密機械　８月の医療用内視鏡は、海外向け修理部品の受注減少が続いていることなどから、前年比で約22%減。カメラ用レンズの生産は、デジタル一眼レフカメラ市場の縮小を見込んだミラーレス一眼カメラ用レンズへの生産シフトが継続。

窯業・土石　８月の生コンクリート出荷量は、全体で130,530㎥（前年同月比＋2.9%）。地域別にみると、官公需では県北以外の５地域が前年を上回り、合計では前年比＋20.8%、民需では会津以外の５地域が前年を下回り、合計では前年比△14.6%。

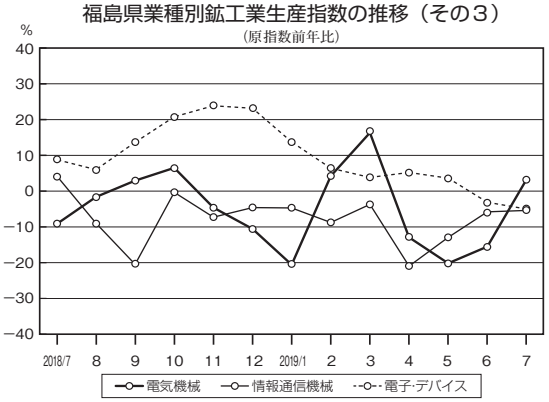
紙・紙加工品　８月の製紙の生産は、消費税率引き上げ前の前倒し受注による反動などもあり、全体では前年並みの水準。

清酒　８月の清酒移出数量は、790kL（前年同月比△4.5%）と２カ月ぶりの前年比減。酒類別では、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が462kL（同△5.2%）、一般酒（特定名称酒以外の酒）が328kL（同△3.6%）。

化合繊織物　８月の化合繊織物は、前年比で生産数量が約35%減、生産額が約24%減。

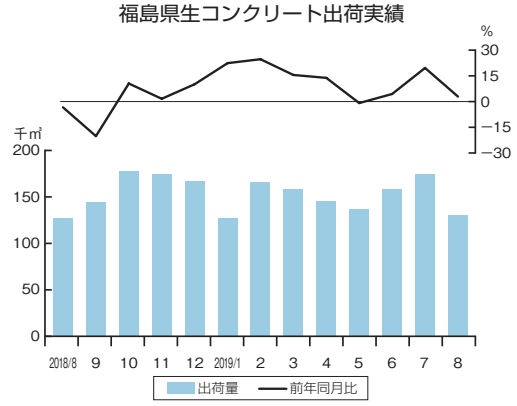
ニット　８月のニットは、秋冬物の製品と来年春夏物のサンプルの生産が続いており、生産数量、生産額はともに前年比で約10%増。

福島県業種別鉱工業生産指数の推移（その３）



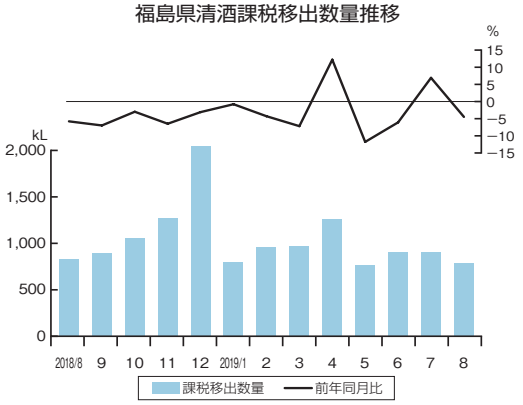
（資料：福島県企画調整部統計課）

福島県生コンクリート出荷実績



（資料：福島県生コンクリート工業組合）

福島県清酒課税移出数量推移



（資料：福島県酒造組合）